



株式
会社

ライフコーポレーション

第68回 定時株主総会



第68期連結会計年度の概況

外部環境 ～日本経済および小売業界の状況～

- 新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の正常化の両立
- コストプッシュ型インフレの進行や世界規模での景気停滞、円安の影響
- 業種・業態の垣根を超えた競争環境の激化
- 原材料の調達価格の上昇、水道光熱費・人件費等各種コストの上昇
- 実質賃金の減少による節約志向の拡大

企業運営を取り巻く環境は厳しい

同質化競争からの脱却 ～BIO-RAL事業の拡大～



Organic

オーガニック

自然の恵みを活かした農作物や加工品。私たちはその価値をお伝えするとともにいつでも手にできる場を提供します。



Local

ローカル

私たちは、その土地で培われたおいしさ、四季折々の実りに感謝し、自然の摂理に合った食生活を提案します。

Healthy

ヘルシー

健康的な食生活が健全な体と心を育みます。私たちは、からだにやさしい商品の品揃えや開発にも取り組みます。

4つのコンセプト

BIO-RALが
大切にしていること

「BIO-RAL」CONCEPT



Sustainability

サステナビリティ

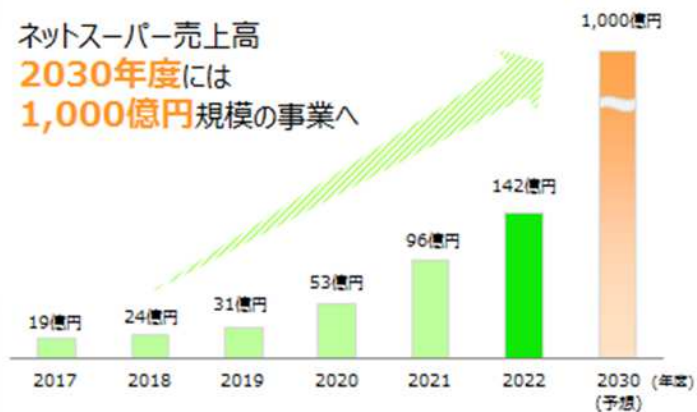
自然の恵みを子どもの代まで受け継いでいくために、循環型社会の実現、地球環境保持をめざします。



同質化競争からの脱却 ～BIO-RAL事業の拡大～

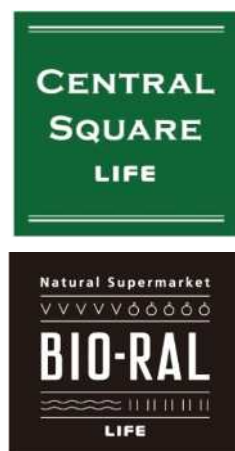


同質化競争からの脱却 ～ネットスーパー事業の拡大～



各種施策 ～セントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店（2022年4月開店）～

日々のお買い物を、便利から楽しいへ
すべてがつながる、新しいスーパーマーケット



各種施策 ～セントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店（2022年4月開店）～

次世代スーパーマーケット



各種施策 ～セントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店（2022年4月開店）～

「STORE OF THE YEAR 2023」※第1位を受賞



※「STORE OF THE YEAR 2023」とは…流通専門誌ダイヤモンド・チェーンストアが企画する、その年に開業し業界に影響を与えた店舗を
読者・小売業関係者・有識者などの投票により順位を決めるもの

各種施策 ～サステナビリティ推進活動～

- ✓ 天保山バイオガス発電設備が「脱炭素賞」を受賞 ✓ 使用電力を再生可能エネルギー由来の電力へ



各種施策 ～社会貢献活動～

✓ ウクライナ支援

✓ 子ども食堂への食品寄付開始

✓ 食育活動



各種施策 ～当社で初となる統合報告書の発行～



各種施策 ～当社で初となる統合報告書の発行～



経営理念

「志の高い信頼の経営」を通じて 持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

ライフコーポレーションは、1961年以来、幅広い商品を取扱うスーパーマーケットとして、お客様との信頼関係を第一に、真心こめたサービスで人々の生活を支えてきました。今では日本国内に285店舗（2022年2月末時点）を展開するまでに至りました。

2021年12月、当社は経営理念を改定しました。戦後の日本の復興・成長とともに歩んできた創業者清水信次の強い意志が込められた「社会の発展向上」という言葉ですが、現在の社会環境を踏まえ検討した結果、「持続可能で豊かな社会の実現」という言葉に変更しました。気候変動や新型コロナウイルスの感染拡大など、様々な課題に直面していますが、当社はこれらの課題にしっかりと取り組んでいく姿勢を明確にし、持続可能で豊かな社会の実現に向けた取り組みを進め、新たな価値を創出し続けていきます。

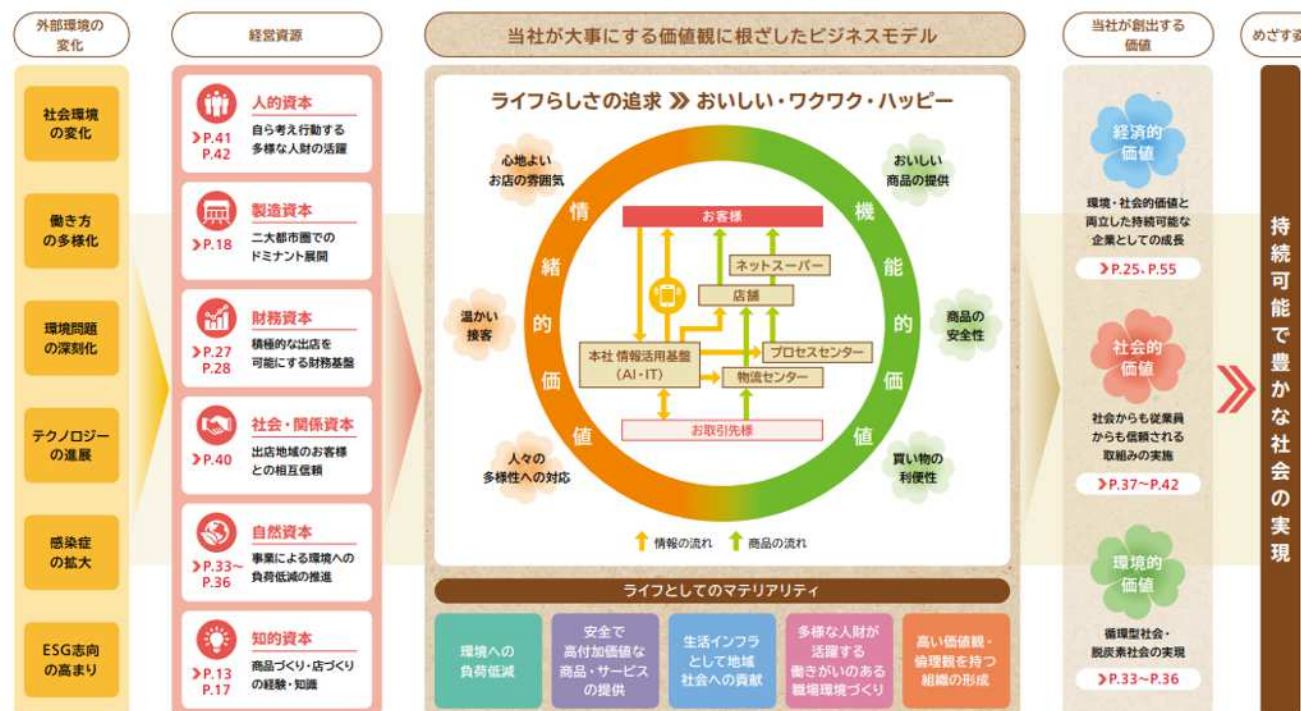
地域社会でなくてはならない社会インフラとして、お客様からも社会からも従業員からも信頼されるスーパーマーケットをめざします。



各種施策 ～当社で初となる統合報告書の発行～

価値創造プロセス

当社グループはお客様ニーズや外部環境の変化に合わせて、様々な経営資源を活用しながら、“おいしい”、“ワクワク”、“ハッピー”に象徴される「ライフらしさ」を追求しています。これからも当社グループだからこそ創出できる価値の提供を通じて「持続可能で豊かな社会の実現」に貢献していきます。



新規出店

セントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店
東京都渋谷区（2022年4月 開店）



カメイドクロック店
東京都江東区（2022年4月 開店）



堀川北山店
京都府京都市（2022年4月 開店）



ビオラル新宿マルイ店
東京都新宿区（2022年5月 開店）



新規出店

守口滝井店

大阪府守口市（2022年7月 開店）



西荻窪店

東京都杉並区（2022年7月 開店）



豊洲店

東京都江東区（2022年9月 開店）



花園中央公園店

大阪府東大阪市（2022年9月 開店）



新規出店

四条大宮店

京都府京都市（2022年9月 開店）



ビエラ蒔田店

神奈川県横浜市（2022年10月 開店）



市谷薬王寺店

東京都新宿区（2022年12月 開店）

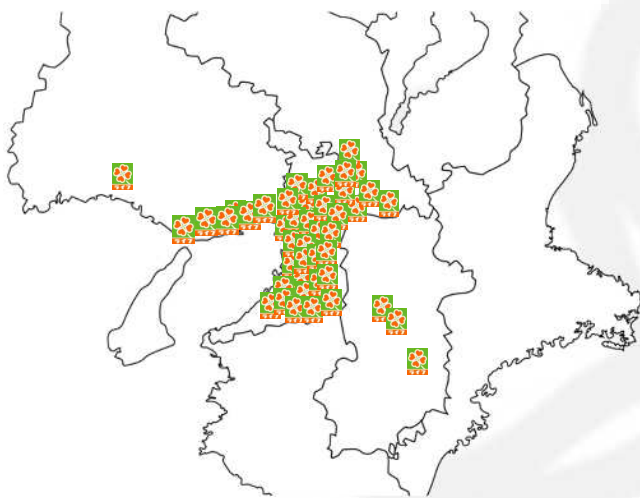


初芝店 建替オープン

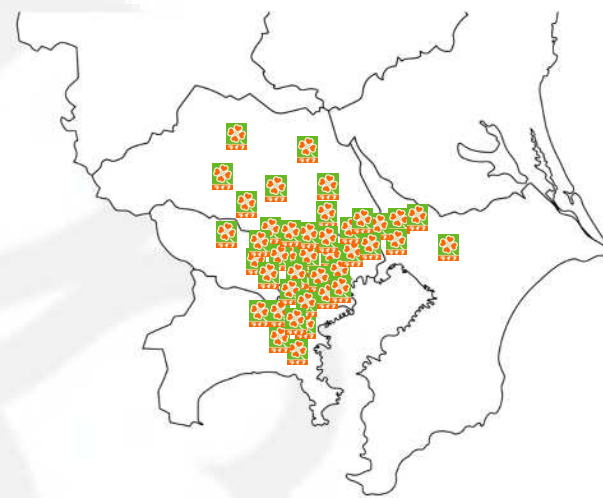
初芝店 大阪府堺市（2022年12月7日 開店）



当社の店舗数



近畿圏 **164** 店舗



首都圏 **132** 店舗

合計 296 店舗

(2023年2月28日現在)

既存店舗の大型改装

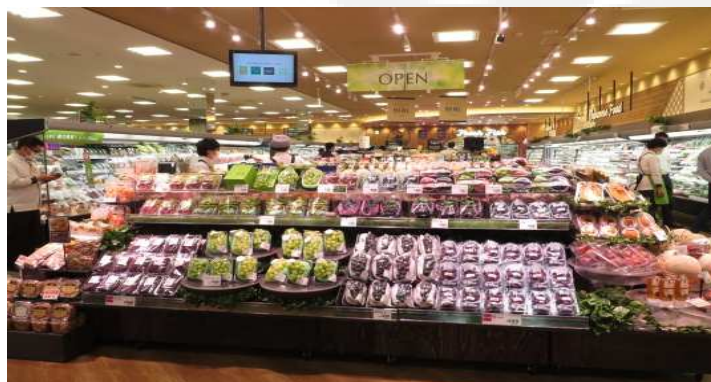
志紀店



市川国分店



大淀中店



セントラルスクエアなんば店



当社グループの業績



当社グループの業績

	2023年2月期	増減率
営業収益	7,654億2,600万円	-
営業利益	191億4,800万円	▲16.5%
経常利益	200億1,500万円	▲15.5%
当期純利益	133億2,700万円	▲12.4%

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を当連結会計年度の期首から適用しております。
 2023年2月期に係る各数値は、当該会計基準等を適用後の数値となっており、営業収益は対前期増減率は記載しておりません。



対処すべき課題

外部環境 ～日本の経済見通し～

- 新型コロナウイルス感染症の対応見直しによる社会経済活動の正常化、インバウンド需要の拡大
- 海外の過度なインフレ、自然災害の多発
- 欧米の財政・金融・通商政策、中国経済の動向
- ウクライナ情勢等地政学リスクの経済への影響

引き続き楽観できない状況

外部環境 ～小売業界の見通し～

- コロナ禍での家計貯蓄の積みあがり、賃金の上昇
- 企業収益の悪化、物価高、新型コロナウイルス感染症への対応見直しによる内食需要の低下、消費マインドの低下
- ネット通販大手を含む業種を越えた生鮮食品分野への進出



業界内の動きがさらに激化

第六次中期経営計画（～2022年度）

今日も見つかる、新しいLife。

とっても新鮮な食材。ホントに美味しいお惣菜。
そして、温かな笑顔で迎えてくれる。

ライフには、いつも“おいしい” 何かが待っている。
ライフなら、今日もきっと“ワクワク”が見つかる。

いつもの暮らしに、ちょっと“ハッピー”をくれる。
私の新しいLife。

ライフは、私のスーパーマーケット。

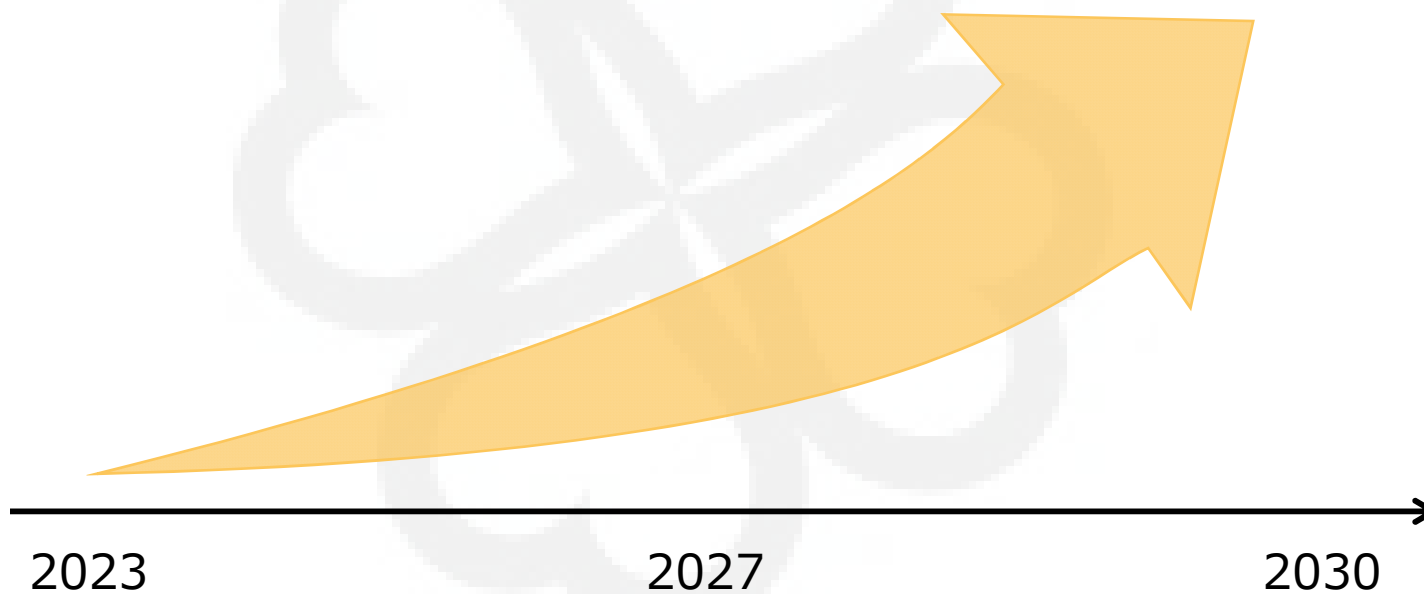
人への投資

店への投資

商品への投資

2030年度に目指す姿

2030年度



2030年度に目指す姿

財務面	2030年度 定量目標
売上高	1兆円
経常利益	350億円
当期純利益	220億円
店舗数	400店舗

2030年度に目指す姿

非財務面	2030年度 定量目標
CO2排出量	50%削減(2013年度比)
食品廃棄量	50%削減(2017年度比)
従業員満足度	4.0(5.0満点)
女性管理職比率	20%(管理職内比)
男性育児関連休暇取得率	100%

第七次中期経営計画の策定（2023年度～2026年度）

地域密着のスーパーマーケットとして、
皆さまに
「私のスーパーマーケット」
と言っていただける会社になる

↓

第七次中期経営計画を策定

第七次中期経営計画（2023年度～2026年度）概要



人への投資

～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップ



同質化競争からの脱却

～シームレスにつながる便利なお買い物実現



持続可能で豊かな社会の実現への貢献

～「地域のライフライン」としての取り組み実施

第七次中期経営計画（2023年度～2026年度）キーワード

キーワードは「つながり」



第七次中期経営計画（2023年度～2026年度）キーワード

キーワードは「つながり」

お客様

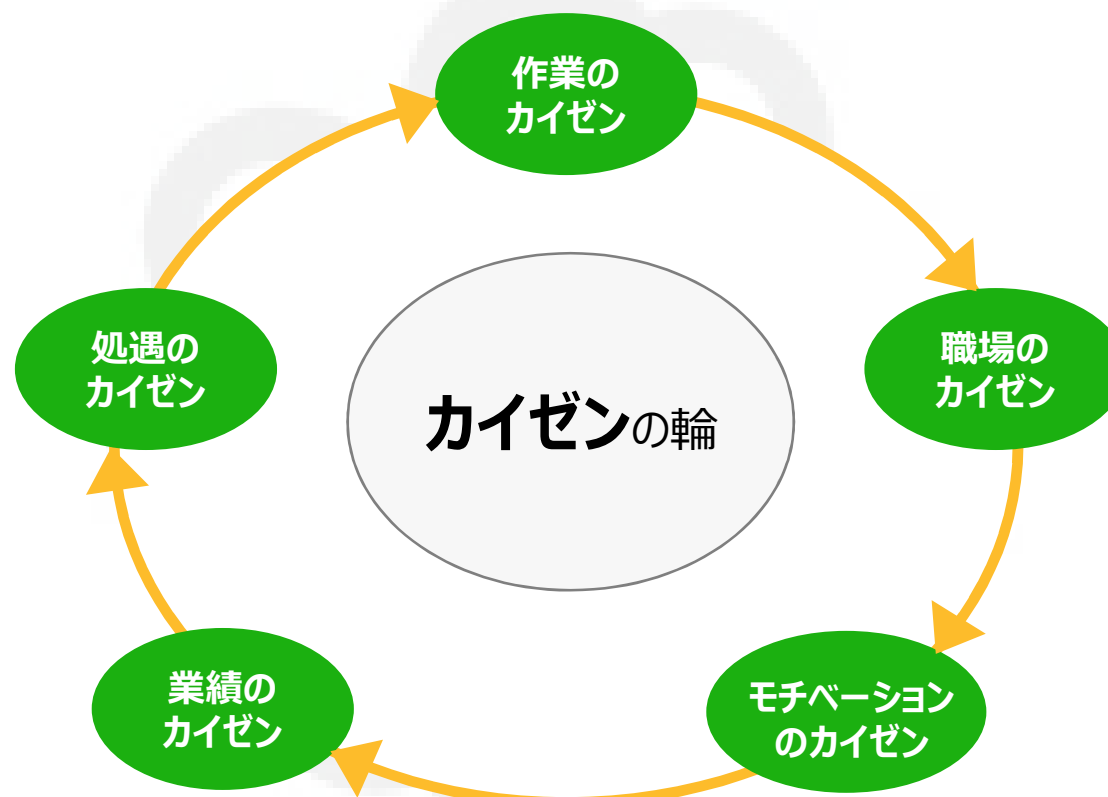
地域社会

より良いlife(暮らし・生活)・より良い社会

お取引先様

株主・投資家
の皆様

カイゼンの輪をつなぐ活動



企業価値の向上・持続的な成長

人への投資

従業員の成長/ES向上

同質化競争からの脱却

ライフにしかない魅力的な商品の充実
魅力あるリアル店舗
便利なネット環境の実現

持続可能で豊かな社会 の実現に貢献

経済的価値/社会的価値
環境的価値の創造

つながり

カイゼンの輪をつなぐ活動

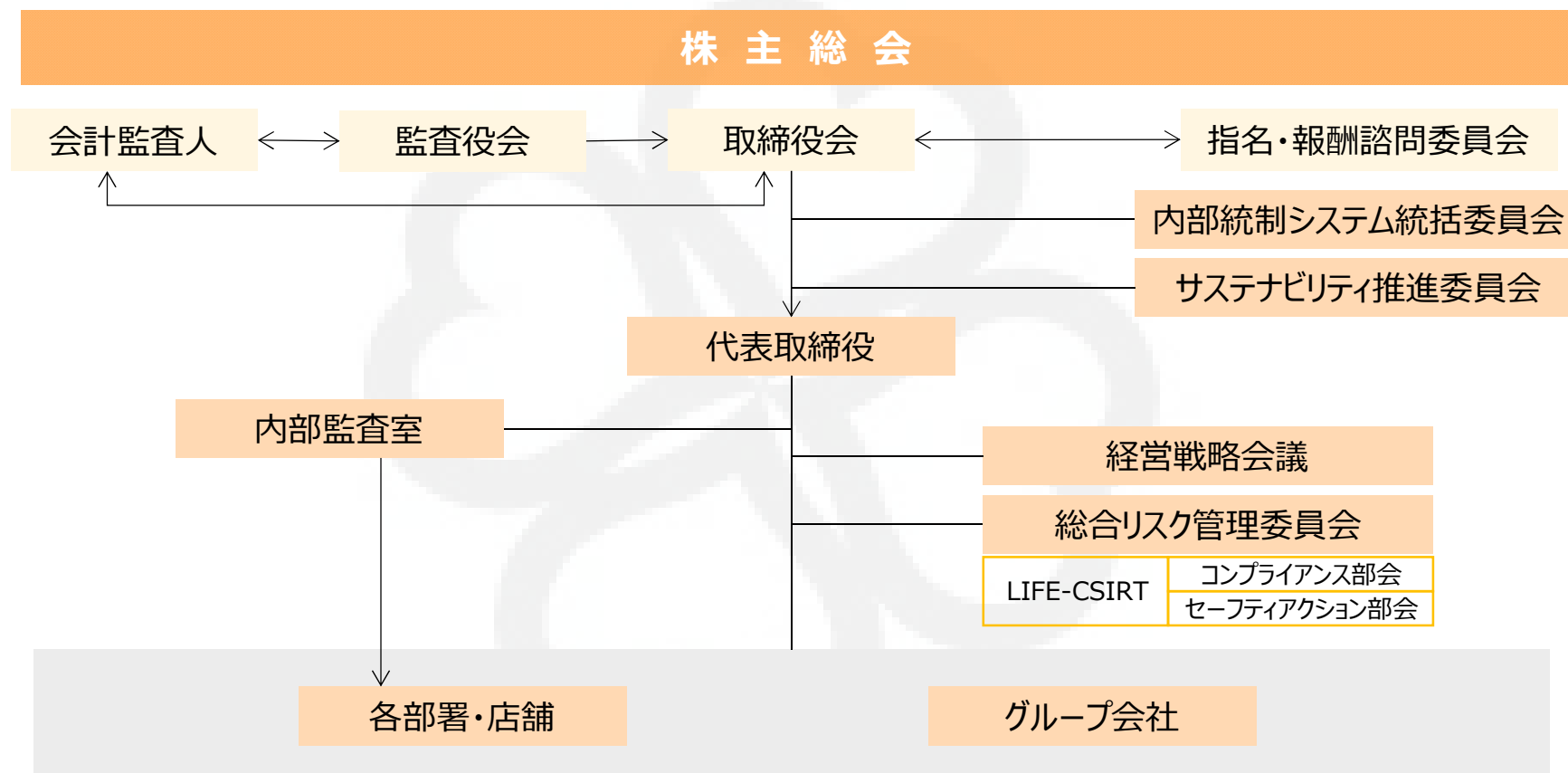
企業価値の向上・持続的な成長

今後の見通し

内食需要の低下、物価高による消費マインドの低下 ➡ 業績動向の見極めが非常に困難

	2024年2月期	増減率
営業収益	8,010億円	+4.6%
営業利益	198億円	+3.4%
経常利益	205億円	+2.4%
当期純利益	135億円	+1.3%

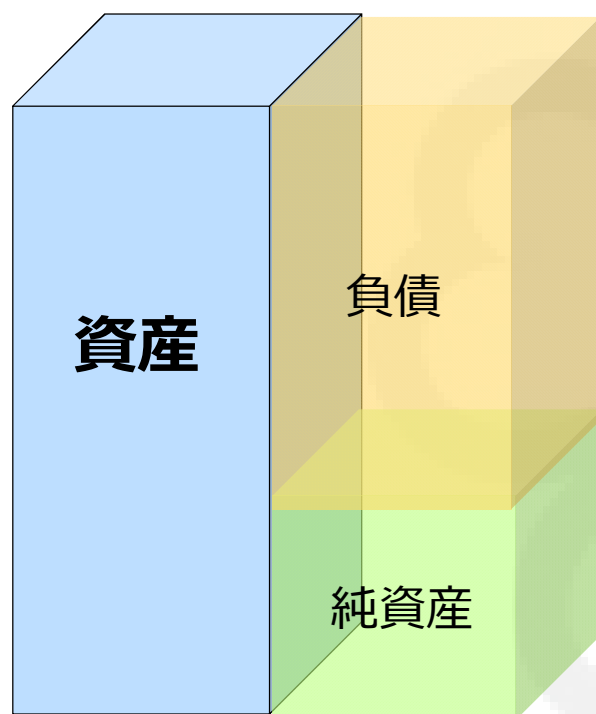
コーポレートガバナンス





連結計算書類

連結貸借対照表



流動資産	804億9,000万円
-------------	--------------------

前期差	60億900万円 増加
-----	-------------

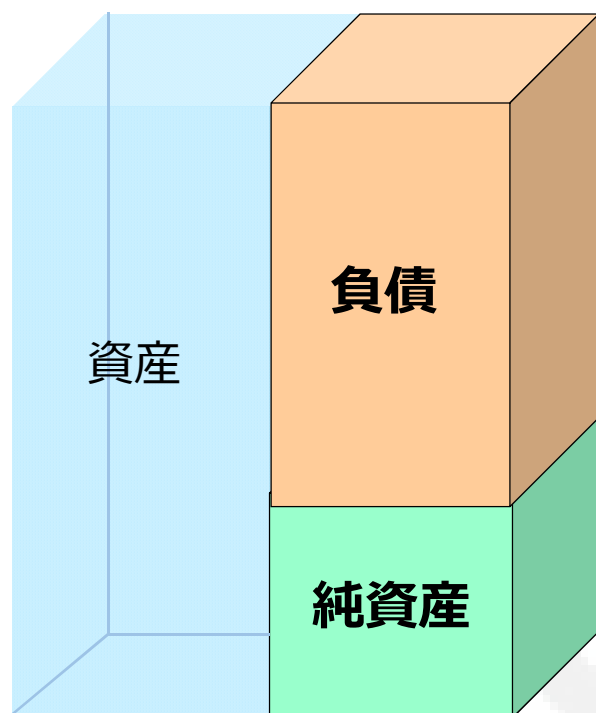
固定資産	2,003億1,900万円
-------------	----------------------

前期差	45億7,100万円 増加
-----	---------------

資産合計	2,808億1,000万円
-------------	----------------------

前期差	105億8,000万円 増加
-----	----------------

連結貸借対照表



負債合計

1,588億700万円

前期差

11億2,200万円 減少

純資産合計

1,220億200万円

前期差

117億300万円 増加

計算書類(連結・単体)

➤ 連結損益計算書

➤ 連結株主資本等変動計算書

招集ご通知48ページから49ページに記載

➤ 連結注記表・個別注記表

当社ウェブサイトに掲載

計算書類(単体)

- 貸借対照表
- 損益計算書
- 株主資本等変動計算書

招集ご通知50ページから52ページに記載

ビジョン

ライフ全店舗がお客様から
『最も信頼される地域一番店』になる
『信頼』とは、『信用』されて
『頼り』にされること
『お客様からも社会からも
従業員からも信頼される
日本一のスーパーマーケット』
を目指します





株式
会社

ライフコーポレーション

第68回 定時株主総会
